

みんなが集える、使いやすい市民館のルールを考えよう！

令和8(2026)～9(2027)年度に鷺沼駅周辺に移転・整備する予定の新しい宮前市民館・図書館の検討に向けて、第6回ワークショップを4月17日(土)に開催し、小中高校生・大学生からベテラン世代まで、29人の方にご参加いただきました。

本ワークショップは、新しい施設で行われる事業や使用ルール等の柱を定める管理運営計画の検討にあたって、皆さんと一緒に考えたり語ったりする内容となっており、全9回を予定しています。

このニュースレターでは、当日のワークショップの様子やいただいたご意見をお伝えします！



みんなのための施設のルールって？ ～市民館編～

今回のワークショップのテーマは「みんなのためのルールを考える②」でした。

参加者の皆さんには、市民館に関わるルールについて考えていただきました。

現施設のルールも参照の上、利用申込方法、申込時期、貸出時間区分、物品販売、飲食、フリースペースなどのルールについてのアイデアを付箋に書き出し、皆さんで話し合いをしながら、意見を整理しました。

日常的に市民館を利用される方、そうでない方からもたくさんのアイデアが生まれ、グループワークは大いに盛り上がりました！

皆さんからのご意見は次のページに続きます。



市民館ってどんな施設？

川崎市内の各区に設置している「市民館」について2つのポイントからご紹介します！

ポイント1：市民館って何？

川崎市内の各区にある「市民館」(川崎区は教育文化会館)は「公民館」と大ホールやギャラリーを備えた「文化会館」の2つの機能を持つ都市型施設です。

ポイント2：設置目的

市民のために、実生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行ない、もって市民の教養の向上を図ること
(川崎市市民館条例より)

市内各区の「市民館」は、上記の設置目的を達成するため、地域の生涯学習の拠点として、市民に施設提供を行ったり、学級・講座、イベントなど様々な事業を展開し、市民の自発的・主体的な学習活動を支援しています。

種別	WSのご意見(抜粋)
利用申込方法	
登録	・ふれあいネットの登録をもっと簡単にできないか
方法	・窓口とインターネットの両方で予約できるようにする ・全てネットから申込できるようにしてほしい
申込時期	
受付開始時期	・ホールは6カ月前の抽選予約としたい ・受付開始を利用希望日に近づけたらどうか
受付終了時期	・申込は1週間前までならOK ・ネット申込なら利用時間ギリギリまで申込可
当日利用	・空いている部屋は当日現地に行って利用できると良い
物品販売	
全面許可	・原則自由
部分許可 (目的別)	・物品販売の目的によって許可すれば良い(例: 貧困地域への寄付〇、営利目的×)
部分許可 (物品の内容)	・川崎で取れた野菜などを直売する ・個人や活動団体が作った作品を販売することは可能にしてほしい
部分許可 (団体別)	・地元のフリーランス、地元の企業、事業者が合同で販売できる→地域経済振興
部分許可 (場所別)	・フリースペースでの物品販売OK ・物品販売可能な場所を大ホール以外に広げる
事業で一時的に許可	・大きいイベント(農業祭、産業祭)などはたくさん物品を売れるようなルールとし、地域を宣伝する
貸出時間区分	
時間制	・1時間単位とし、多くの人が利用できるように ・フレキシブルな時間制(例: 最短1時間から予約可能とし、予約後、次の30分は自動で清掃・準備時間が確保されるようにする)
3区分制+時間制	・3区分制と時間制を部屋によって区分を分ける
フリースペース	
設置場所	・色々な場所に様々な使われ方のものを ・無料で使えるフリースペース(もっと広くて明るいところ)
利用方法・時間	・フリースペースも予約制にする ・人がいっぱいいたら時間制 ・フリースペース内に飲食スペースを設ける。
飲食	ただし、その他の施設(料理室以外)では禁止 ・飲食は基本的に自分達で片付け、ゴミを持ち帰る等のルールのもとでOKとする
エリア分け	・小学生用のスペース ・にぎやかな空間と静かな空間を分ける
飲食ルール	
施設全体	・水やお茶などはどこでも飲めるようにする ・持込をなしにして、市民館にあるものだけ飲食OKとする
エリア分け	・フリースペース、イベントスペースでの飲食はOK ・食べていい場所と食べてはいけない場所を分ける ・食事はスペースを限定
アルコール	・アルコール類はスペース、時間を限定 ・カフェ・レストランのみアルコール可
その他	
料金設定	・週末や祝日などは平日よりも高めに設定する ・シニア世代の利用料金、減免
子ども・学生料金	・子ども～学生の利用料金を半額に ・区内の中・高に通う学生は無料
諸室	・ボランティアグループなどが利用しやすい部屋があれば良い(無料)

まだまだ掲載しきれないほど、たくさんのご意見をいただきました。ありがとうございました！

みんなのための市民館のルールとは？

今回のワークショップでは、計7チームに分かれ、みんなのための市民館のルールについて、意見を出し合いました。小中高生・大学生からベテラン世代まで、それぞれの視点でアイデアを出し合って、活発な意見交換が行われました。

利用申込方法・申込時期・貸出時間区分では、より多くの人がかかった一方で、軽食・食事・飲食ルールでは、飲み物は施設全体で許容するご意見が多かったです。

う、柔軟な対応、ルールを求め、ご意見を多くいただきました。物品販売では、全面的な許可よりも、部分的に許可するとうご意見が多くありました。フリースペースでは、場所ごとにルールを分ける意見等がありました。

飲酒はエリアを限定したい、というご意見もありました。その他では、料金、諸室など幅広い視点でたくさんの方のアイデアをいただきました。

次回のワークショップのテーマは、「複合施設のメリットを活かした取組を考えよう」です。ご期待ください！

今後のワークショップ

回	日付	場所	テーマ
6	4月17日(土)	土橋小学校	みんなのためのルールを考える② 済
7	5月22日(土)	土橋小学校	複合施設のメリットを活かした取組を考えよう
8	6月26日(土)	土橋小学校	「まちに飛び出す」を考える
9	7月31日(土)	土橋小学校	「地域の“チカラ”を育む」を考える～どんな風に参加する？～

本ワークショップは全9回を予定しています。(傍聴可)
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、日程が変更となる場合もあります。

お問合せ

〒210-0005 川崎市川崎区東田町8番地 パレール三井ビル13階
川崎市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
TEL 044-200-1981 FAX 044-200-3950

なんでもアンケート

ワークショップ終了後に参加者の皆さんからいただいた感想・ご意見をご紹介します。



最初に自分の意見から話し合い、発表を聞いて、こんな意見もあるんだと深め、考え直すことができました。

話しているなかで、子どもにやさしい市民館というテーマができていき、そのテーマについて深く考えることができたととても面白かった。



様々な年代の方とお話しできたのは良い機会で、それぞれの考え方、要望も異なり、面白かった。

多世代で話し合うことで、色々な視点から考えることができ良かった。

